

# 大切なのは環境整備と高齢者福祉

## 役場庁舎総合案内の場所は適正か

**猪狩新一郎議員** 役場庁舎の正面玄関を入ったところに、総合案内が設けられましたが、庁舎には西玄関も東玄関もあります。そんな中で、どの玄関から入ってきても総合案内が分るように、カウンターの方向に寄せませんか。



窓口付近に移された「総合案内」

**山田町長** 来庁者の便宜をはかるため、現在のところに設置したわけですが、職員といろいろ相談しながら方法を検討してゆきたいと思っています。

## 旧東電入口付近にある植栽の保全を

**塩 史子議員** 下北迫く上北迫線と岩沢荘との間に東京電力㈱広野火力発電所が入口として使用していた道路があります。あそこは桜やツツジ等が植栽してあり、とてもきれいな場所でしたが、東京電力㈱から広野町に所有権が移転してからはぜんぜん手入れがゆき届いていないようですが、整備する考えはありますか。



早急に整備された植栽（旧東電入口）

**黒田総務グループリーダー** 現在、確かに手入れがゆき届いていない状況にありますが、今後は予算の範囲内でできるだけ整備したいと考えています。

## 町民バスの運転手を1年雇用の嘱託職員に

**渡辺久長議員** これまで嘱託職員としていた町民バスの運転手を、なぜ18年度は臨時職員にするのですか。

**黒田総務グループリーダー** 予算上すべて臨時職員という名称で対応しますが、運転手の方については1年雇用ということで運用したいと考えています。

## 町村合併に関する真意はいかに

**渡邊正俊議員** 町長は、施政方針の中で次世代に誇って継承できる広野町をつくって行くと言っていますが、ある月刊誌のインタビュー

で、時代の流れや経済的なことを考えれば合併も考えざるを得ないというようなことを述べたため、多くの町民は合併の方向に進んでいるのかとたいへん心配しています。われわれ議会議員は、定数を減らしてまで広野町をがんばって継続してゆこうという決意ですが、町長の真意を聞かせてください。

**山田町長** 合併については、郡内他町村の動向を見ながらいろいろ検討し、町民のみなさんに相談して進めてゆきたいと考えています。また、雑誌の件については、今後そういった誤解を受けないよう慎重に対応してゆきます。

## 広野産大豆で味噌をつくって新たな町の特産品に

**中津伸一議員** 町では大豆作付奨励金を出して大豆づくりを奨励していますが、それを加工して味噌までつくり、「広野味噌」といった

特産品として大々的に売り出すような考えはありますか。

**磯辺産業グループリーダー** 味噌を製造するとなれば施設や機械が必要になるためお金もかかります。今後いろいろな機関と調整しながら前向きに検討します。



広野産手づくり豆腐

## 奨学金の貸出範囲拡大を検討すべき

**新妻良平議員** 奨学金の貸与は4年制大学に進学する場合のみを対象としていますが、4年制大学に限らず、専修学校等も含め各種専門学校等に進む子供にも枠を広げ、さらに入学資金として入学時にも奨学金を貸与できませんか。

**鯨岡教育長職務代理者** 奨学金の貸与は4年制・6年制大学を対象としており、ひと月あたり10万円を限度に貸与しています。最近は専門学校等に進学する方からも問い合わせがありますので、枠を拡

大して今後貸与する方向で協議したいと考えています。

## 高齢者に安全・安心な生活道路の提供を

**猪狩新一郎議員** 未整備の生活道路については、道路の拡幅ができないのであれば舗装だけでもできませんか。

**賀沢建設グループリーダー** 用地の取得が難しい道路については、そこに居住している方々の生活道路を確保する観点からそのまま舗装することもやむを得ないということの一部予算を計上しています。ただし、それが永久的なものになってしまっておそれもあるのでは、なお慎重に検討したいと思えます。

**中津伸一議員** 町長自ら用地交渉することも視野に入れ、みんなで力を合わせ、一生懸命用地交渉してください。

**賀沢建設グループリーダー** 道路の拡幅計画をして以来、交渉はしておりますし、機会あるごとにお話もしておりますが、なかなか原道舗装さえも難しい状況です。今後とも地権者さんの考えを十分ふまえた中で進めてゆきたいと考えています。

## 古い住宅地における防災体制の確保を

**鈴木正範議員** 道路が狭い上にその先がゆき止まりになっているところについては、入口部分で火災などがあつた場合、住んでいる人たちは避難できません。早急に改善策を検討してもらえませんか。

**山田町長** 道路が狭いということはいろいろな面でたいへんだと私も懸念しています。今後いろいろ勉強して前向きに検討します。



苗代替地区

## 中学生海外派遣事業の再開に向け鋭意努力を

**中津伸一議員** 海外派遣事業調査費が予算計上されましたが、今後生徒や保護者の意向調査を行うなど、実施に向けて鋭意努力する考えはありますか。

**山田町長** 教育に関しては大事な時期にきていると考えています。子供たちの視野を広めるためにも、いろいろな調査をして前向きに考えてゆきたいと思えます。